

## 武甲山行報告

【山 行 日】2016年 5月 4日(水) 晴れ 【集 合】 岩舟支所 P AM 5:00 【費 用】 マイカー2台 : 2,200円 【メンバー】 CL:鈴木1、石川、岩渕、大西、 梶内、島田、須藤、津佐、松舘、

【コースタイム】岩舟支所 P5:00=一の鳥居登山口 P7:00/7:20~大杉の広場 8:30~武甲山 9:20/9:30 ~シラジクボ 9:55~小持山 11:00~大持山

12:05/12:45~妻坂峠 13:35~一の鳥居登山口 14:20=岩舟支所 P16:30

秩父の盟主「武甲山」へ登りたいと要望があり、一の鳥居から周遊□一スで計画した。

天気予報は数日前から雨の予報になっていた が、自分の予報では天気が回復し登れると思 っていた。

岩舟を出発するときは雨が落ちていたが、秩 父の道の駅では雨は上がったので安心した。 一の鳥居の駐車場に着くと車は3台しかなく、 やはり雨の影響で中止にした方々が多いのか なと思った。準備を整え、ストレッチを済ませ出 発する。ガスがかかり蒸し暑い中、釣り場のあ る生川集落を過ぎ、左に持山寺への道を分け ると登山道入口に着く。衣服調整をして水分を

補給し、杉林の登山道に入る。登山道には丁目石が置かれており、スギ林の中をジグザグに登っ



18丁目に滝不動が祀られ、ここが最後の 水場となりペットボトルに詰めた水を山頂

のトイレまでの運搬依頼が書いてある。 さらに急登が続き、いくつもの丁目石を見 送り展望のないスギ林を登ると、傾斜が緩 くなり三十二丁目にあたる大杉の広場に 着く。休憩をとり、トマトやチョコレートを食 べ水分を補給する。ここからは幾分傾斜は 緩くなるが、まだまだきつい登りは続いて いる。急な階段道を登る様になると、間も

なく頂上直下の十字路に出る。ここを右手に進むとトイレとベンチがあり、その上部に日本武尊を祭る御嶽神社が建っている。参拝してから、社殿の右わきを登って山頂展望台に着く。山頂には標識や方向指示盤があり、北から西にかけての展望が広がるが、雲が多く展望は得られなかった。 イチジクやチョコレートを食べてエネルギーを補給し、少し下ってトイレを済ませ子持山へ向かう。



天気は完全に回復し、新緑の中気持よく歩ける。シラジクボで持山寺からの道を左に分けて直進し、明るい尾根道のアップダウンを繰り返し登って行く。今年は花の時季が早く、アカヤシオの花はほとんど終わっていたが、日陰にわずかに見られた。天気が良くなり気温が高く、暑さに慣れない体にはとてもつらく感じる。子持山山頂に着き、記念写真を撮った後トマトを食べ水分を補給する。

ここから大持山へ向かう道も、自然林の快適な尾根歩きだが、風も無く暑さがこたえるよ

うになってくる。尾根はしだいにやせた露岩になり、展望の良い露岩のピークに着く。皆さんはここで昼食にしたいようだが、大人数なので先に進む。大持山山頂に着き記念写真を撮り、山頂の先の

妻坂峠分岐まで行きランチタイムとする。

ここからは南面に大展望が広がり、伊豆ヶ岳 や有馬山、奥多摩の山々の眺望を楽しみな がら天ぷらうどんを美味しくいただく。

厚焼き卵やタケノコの煮つけ、漬物などもいただきのんびり過ごした。ここからは妻坂峠に向かって真っすぐ降りて行く。

季節感豊かな雑木林の中を歩くが、土嚢で登山道が補修され痛々しい。一時間弱で石仏が置かれた妻坂峠に着き、武甲山を見上げながら最後の休憩をとる。ここからは妻坂

沢沿いに下る道になり、林道を横切り二つ目の林道に出ると一の鳥居の駐車場に出る。 帰りは、羊山公園の芝桜で渋滞する秩父の市街を避け、国道299号を右折して飯能に向かい、狭 山日高ICから圏央道に入り東北道経由で岩舟支所に予定より早く帰着出来た。



